

報道関係各位

2010年4月1日

オバマ米大統領、ドメイン「.obama」の取得に失敗 『.hawaii』の申請を検討

～ Yes, We Can! Get The Domain 「.hawaii」 ～

4月1日(現地時間)、オバマ米大統領はホワイトハウスにて、「.obama」の申請を、取り消すことを明らかにした。2009年4月、日本のインターネットサービスプロバイダーである株式会社インターリンクで、ドメイン「.obama」を申請していたが、2010年3月、ICANN()が個人名を表す(又は挿入した)トップレベルドメインの申請を禁止することが発表されたため、取り消しに至った。

申請取り消しにあたっての演説で、オバマ大統領は「大変残念なことではあるが、ICANNには従わざるを得ない。WDC(ワールドドメインカップ)から誕生する、新しいトップレベルドメインに期待したい」と述べた。

オバマ大統領が就任後、独自のドメイン申請について言及したのは今回が2度目。「.obama」を申請した背景には、2008年にICANN()がトップレベルドメイン自由化を承認した経緯と、現在オバマ政権に招集されている、元ICANN理事のスーザン・クロフォード教授の影響もあると思われる。

オバマ大統領が期待を寄せる「WDC(ワールドドメインカップ)http://www.worlddomaincup.com/」は、インターネットユーザーが望む新しいドメインを決めるコンテスト。2010年4月1日現在、全世界のインターネットユーザーから約15,000件の応募が寄せられている。先日には、応募ドメインの途中経過TOP100(http://www.urbanbrain.jp/ja/stats/)が公開されたこともあり、各界のトップも注目を集めている。

また、オバマ米大統領は「.obama」申請の代わりに、故郷の更なる発展を願った「.hawaii」をインターリンク社へ相談中との情報もある。

【関連記事】

・Current World Domain Cup New gTLD String Results (DomainNews.com)

<http://www.domainnews.com/en/current-world-domain-cup-new-gtld-string-results.html>

ICANNについて

インターネット上で利用されるアドレス資源(IPアドレス、ドメイン名、ポート番号など)の標準化や割り当てを行なう組織です。IANAの後継にあたる民間の非営利法人です。新gTLDの申請受理はICANNのみが行います。

【注意】(記事化の際には、以下のウェブサイトを必ず御覧下さい。)

ホワイトハウスで行われたオバマ米大統領のスピーチ全文は下記URLから閲覧できます。

<http://www.interlink.or.jp/obama2>

『Word Domain Cup(ワールドドメインカップ)』の開催については、<http://www.worlddomaincup.com>をご確認ください。

<会社概要>

株式会社インターリンク (<http://www.interlink.or.jp/>)

日本のインターネット黎明期である1995年よりサービスを開始。今年で15年目を迎える老舗ISP。コアなユーザーからの熱い支持と信頼を得ている。2006年10月、日本で8社目のICANN公認レジストラに認定。2009年10月には、国内のレジストラを中心とする7社と日本ドメイン名事業者協会を発足しました。2010年2月から新gTLD業務部門として、株式会社UrbanBrainを独立化。ユーザーにとって、より快適なインターネット接続環境を提供すると共に、インターネットを通じた社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

【最近のニュースリリース】

2010/03/25 『第5回あなたが選ぶオタク川柳大賞』結果発表 <http://www.interlink.or.jp/new/press.html>

本リリースに関するお問合せ先

株式会社フロンティア・エンタープライズ (株)インターリンク 広報事務局) 担当 / 佐瀬・磯部

TEL.03-5770-5670 FAX.03-3796-0430 E-mail: sase@frontier-e.co.jp